安政の大獄で囚われた幕末勤皇の志士

斎藤昌麿の墓

斎藤昌麿は江戸時代後期の享和2年（1802）に小浜の網元の家に生まれ、30歳を過ぎてから国学者の 橘 守部に師事した人物です。和歌や国学などを学び、橘の家学を守るために尽くしました。その後、この影響を受けて勤皇派を支援していましたが、安政の大獄で捕らえられ、獄中で『夢の浮橋』と題する書を稿しました。他に、遺稿として『昌麿家集』などがあります。慶応2年（1866）に66歳で死去しています。

＊＊＊